

新春のご挨拶

令和6年の新春を迎え、皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当組合に格別なるご指導、ご鞭撻を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、約3年半強いられた様々な制限から解放されました。組合においても、4年ぶりに対面での総会および懇親会を開催することができ、再会を喜び合うことができました。

しかし、その後長期化している円安の影響や、半導体不足による不安定な資材供給状況は、我々消防設備業者の経営にも暗い影を落としており、本年もまだまだ予断を許さない状況が続くと予測されます。このような中をひたむきに日々の業務に精励して下さっていることに、心より感謝を申し上げますとともに、この難局を、力を合わせて乗り越えていきたいと思うものでございます。

また昨年は、日本海地方を中心とする大雪や、大型台風の接近、上陸など多くの自然災害が日本列島を襲いました。我々関西地方に住まいするものにとって、南海トラフ地震などの大規模地震の発生が危惧される中で、全国各地で発生する自然災害は、日頃のそなえの大切さを再認識する出来事であります。気を引き締める思いになると共に、防災に関わる仕事をしている私たちは率先して地域の災害対策に協力していきたいと心するものです。



大阪消防設備協同組合
理事長 乾 克己

現在、組合員数は218社となり、コロナ禍で数社の退会等があったものの、昨年も新しい仲間に加わっていただくことができ、おかげさまでコロナ前よりも増加しております。来年には大阪万博が開催され、これまで以上に来訪者が増えることが予想される中、市民の安心・安全を第一に考え、有事の際の被害を少しでも抑えるための工夫や提案を積極的に行っていくべきと考えます。お客様の不安や悩みにどこまでも寄り添い、安心して仕事を任せて頂けるようになることが、消防設備業界の付加価値を一層高めることに繋がるとの信念をもって、本年も事業の運営に邁進していきたいと存じます。

結びに、関係行政機関、賛助会員の皆様方には、本年も私ども組合にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、皆様方の益々のご健勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げ、組合報発刊にあたって年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和5年度研修会

令和5年11月16日（木）、九条MTビル7階会議室（大阪市消防局別館会議室）にて大阪消防設備協同組合・一般社団法人関西防災機器協会合同の『令和5年度研修会』を開催し、44名が参加しました。

大阪市消防局消防設備指導担当課長・都丸純一郎様によるあいさつにて開会、大阪市消防局予防部規制課担当係長・堀内正和様による「消防用設備等規制の最近の動向について」の研修の後は、上田消防建設株式会社取締役・上田篤志様、公務営業部・西森誠様による「避難器具の設置に係る技術基準とその施工ーこれからの避難器具についてー」と題した研修が行われ、今後の消防設備業界の課題や必要な技術の向上について真剣に学びあいました。

その後、一般社団法人関西防災機器協会・小西一功会長、当組合の乾克己理事長よりあいさつがあり、閉会となりました。



若手経営者の集い



青年部では令和5年11月28日、ニューミュンヘン南大使館（大阪市中央区難波）にて『若手経営者の集い』を開催し、29名が参加しました。若手世代の親睦を深め、今後一層消防設備業界を盛り上げるために企画されたこの度の集いでしたが、参加者からは早くも次回開催の要望が上がるなど予想を上回る盛況ぶりでした。また、尾山青年部長（大東防災電設㈱）からは新体制の発表が行われ、令和6年からは小谷昌幸氏（エスクローパー防災㈱）が新青年部長に、副部長には福島政則氏（㈱オーケー防災）、赤川敬祐氏（㈱C.A.T）がそれぞれ就任することとなりました。

さらに活気を増してゆく青年部の活動にご期待頂き、今後ともご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

OSG会ゴルフコンペ

令和5年10月4日、花吉野カンツリー倶楽部において『第13回OSG会ゴルフコンペ』を開催しました！32名が参加し、絶好のゴルフ日和の気候の中、熱戦を繰り広げました。

実行委員長に就任して初めてのコンペとなりましたが、皆様のご協力により、無事に終わることが出来ましたことに感謝申し上げます。今後も様々に工夫を重ねてより良い大会づくりに励んでまいりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

実行委員長 富永 豊

※なお、次回のゴルフコンペは令和6年3月9日を予定しております。



富永実行委員長

西田さん



支部での再会に喜びの声、続々と・・・



第7・8支部合同支部会の様子

昨年5月にコロナ感染症が5類に移行されたことで行動制限がなくなり、人と接する機会がコロナ前と同じように戻りつつあります。

組合の支部活動においても、第3支部（令和5年7月6日）、第5支部（令和5年9月22日）、第7・8支部（令和5年9月16日）がそれぞれ支部懇親会を開催し、4年ぶりの支部での再会を喜び合いました。

組合員通信

受賞 おめでとうございます！

令和5年度の消防庁長官表彰において、当組合の副理事長・尾山英男氏（大東防災電設㈱・第5支部所属）、理事・澁谷卓二氏（サンコー設備㈱・第8支部所属）が消防設備保守功労者表彰を、また木内利幸氏（木内ポンプ㈱・第1支部所属）が消防機器開発普及功労者表彰を受賞されました！

心よりお祝いをいたしますとともに、今度とも業界発展のためにご尽力賜りますようお願い致します。

【代表者変更】：新代表者

㈱伸和防災センター：代表取締役 西場 望美

㈱入谷商会：代表取締役 岡田 勝志

【事務所移転】：新住所

渡辺防災設備：大阪市城区成育4-22-20

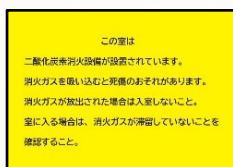
㈱シブヤ防災：吹田市南吹田5-15-10
（第2支部→第1支部へ移動）

㈲近畿タカラ防災：八尾市中田4-51

二酸化炭素消火設備標識 幹旋のご案内

令和2年12月から令和3年4月にかけて二酸化炭素消火設備に係る死亡事故が相次いで発生したため、事故の再発防止を目的に法令が改正され、新たに標識の設置が必要となりました。（消防法施行規則第19条第5項第19号イ（ホ）関係）

当組合事務局では、組合員である㈱山陽商会様のご協力の下、新基準対応の各標識板を販売しております。



危険

ここは、隣室に設置された二酸化炭素消火設備の消火ガスが流入するおそれがあり、吸い込むと死傷のおそれがあります。
消火ガスが放出された場合は、退避すること。
近づく場合は、消火ガスが滞留していないことを確認すること。

危険

ここには、二酸化炭素消火設備が設置されています。
消火ガスを吸い込むと死傷のおそれがあります。
消火ガスを放出する前に退避指令の放送を行います。
放送の指示に従い室外へ退避すること。

商品の詳細については組合事務局までお問合せ下さい

こんな商品も販売してます



消火器使用法
樹脂製裏印刷タイプ
(215×250×1mm)

耐久力UP！

移動式粉末消火設備
ステッカー(55×270mm)

サイズぴったり！

移動式粉末消火設備



【編集後記】コロナ前の活気が戻った大阪の街。上昇気流に乗って業界全体も発展して行けるよう、情報発信に努めて参ります。本年もよろしくお願いいたします。（教育情報委員一同） 写真提供：山口忍